

安全報告書（2026年）

安全報告書（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

カルルス温泉 サンライバスキー場 令和8年9月作成

■お客様へ

平素は当社の索道施設をご利用頂き誠にありがとうございます。また当社の索道事業への理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。当社は経営理念の第一に安全確保を掲げ、法令を遵守し安全輸送に努めております。本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら検証するとともに、ご利用頂いておりますお客様始め関係各位に広くご理解頂くために公表するものであります。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご理解を頂戴できれば幸いです。

株式会社 登別ゴルフ場
代表取締役社長 宮崎 靖志

■基本方針と安全目標

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全従業員に周知・徹底しております。

(1) 基本方針

- ・一致団結して輸送の安全確保に努めること。
- ・輸送の安全に関する法令及び規程(以下「法令等」という。)をよく理解するとともに、これを遵守、厳正、かつ忠実に遂行すること。
- ・常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ・職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、その取扱いに疑いがある時は最も安全と思われる取扱いをすること。
- ・事故または災害が発生した時は、人命の救助を最優先とし、速やかに行動し安全適切な処置を行うこと。
- ・情報の伝達は、迅速及び正確に伝え、透明性を確保すること。
- ・常に問題意識を持ち、安全確保の向上と研究を行い、必要な改革には積極的に取り組むこと。

(2) 安全目標

令和7年シーズン(令和7年4月1日～令和8年3月31日)の索道安全目標は次のとおりです。

- ・安全第一をモットーに無事故を達成すること。
- ・確実な点検整備を行い安全輸送につとめること。
- ・法令順守を徹底し、安全輸送の確保につとめること。
- ・指差し呼称、報告・連絡・相談の徹底、作業時のヘルメット及びフルハーネス型安全帯着用の徹底。

■事故等の発生状況と再発防止措置

- ・令和7年シーズンにおいて索道事故及びインシデントはありませんでした。
- ・強風等により索道の運行を一時見合わせる事がありましたが、安全運行とお客様の安全確保のためでありますので、皆様のご協力をお願い致します。

■輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全重点施策 「索道事故未然防止対策」

安全目標を達成するため、次のような安全重点施策を定めて取り組んでいます。

安全目標 「事故・トラブルの発生件数「ゼロ」を継続する。

- ・始業点検、定期点検(1月毎、12月毎)の確実な実施。
- ・常に施設の異常に対する変化、お客様の動静に注意。
- ・自社、他社のトラブル情報のグループ共有化。(ヒヤリハットの適切な収集)。
- ・朝礼、夕礼を行い索道係員の健康状態の確認と安全を確保するための指示、情報の伝達。
- ・インターネットで最新に気象情報を確認し注意喚起を係員に伝達。

(2) 人材教育

当社では、輸送の安全確保及びご来場頂くお客様に安心して当施設をご利用頂けるように様々な人材教育を行っています。

- ・令和7年7月9日・10日 9月26日北海道索道協会主催、索道管理者基礎講習会を受講いたしました。
- ・令和7年10月9日北海道運輸局主催、索道技術管理者研修会を受講いたしました。
- ・令和7年12月10日・11日に社内研修会及び救助訓練を実施しました。
- ・加森観光グループでは索道担当者会議を年2回開催しており、安全対策の実施状況と安全管理の徹底の確認を討議しました。

従業員研修 令和7年12月10日・11日



第一回加森観光グループ索道担当者会議
令和7年7月14日



救助訓練 令和7年12月10日



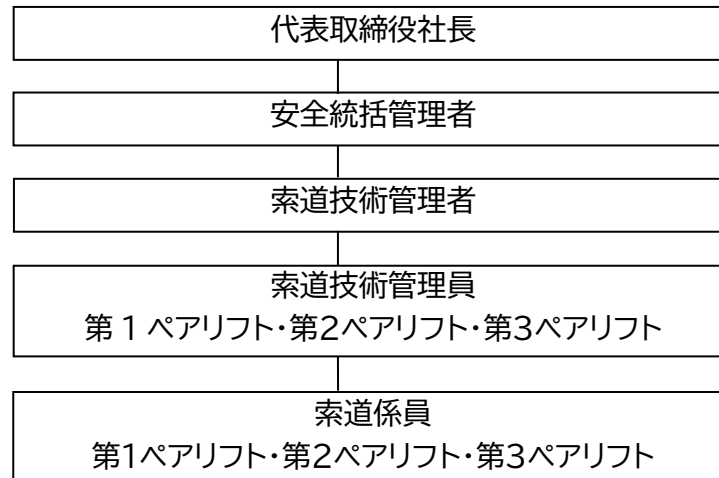
第二回加森観光グループ索道担当者会議
令和7年11月13日



■当社の安全管理体制

社長をトップとして安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。
また、ヒヤリハット・ヒューマンエラー報告制度を導入し、日々の業務に反映させております。

安全管理に関する体制図



役割と権限について

- ① 代表取締役社長 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
- ② 安全統括管理者 索道事業の輸送の確保に関する業務を統括する。
- ③ 索道技術管理者 索道運行の管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務の管理。
- ④ 索道技術管理員 個別の索道運行の管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務の管理。

■運輸安全マネジメント立入検査等

北海道運輸局による立ち入り検査時の指摘事項

索道保安監査時に、第1ペアリフトの6号柱～8号柱間の空線側及び第3ペアリフト5号柱～7号柱間の空線側において搬器に木の枝が接触していたことが、指摘事項として一件ございました。

すでに必要な措置を講じ改善済みですが、社内でのチェック体制を強化し再発防止に努めます。

■皆様からの声

平成18年度から毎年この安全報告書を公表する事が義務付けられました。

当社が取組んできた索道事業の安全確保の取組みを理解して頂き、また皆様からのご意見をお聞きしながら安全運行に努めて参りたいと思います。

安全報告書へのご意見、当社の安全への取組みに対するご意見等をお寄せ下さい。

連絡先 〒059-0553 北海道登別市カルルス町27番地

カルルス温泉 サンライバスキー場

TEL: 0143-84-2872 FAX: 0143-84-2800

URL: <http://www.sanlaiva.com> e-mail: support@sanlaiva.com